

松本系魚川連絡道路 大町市街地区間 質疑応答要旨

日 時：令和8年3月29日（日）14：00～ 15：30

場 所：サン・アルプス大町

○質問 1-1

・説明会はこれまでも出ている。大町市に質問であるが住民の対話集会の中で、相談会を開くという話があったが、それは何故開かなかったのか？

●回答 1-1(大町市役所)

・申し訳ないが、相談会については、大町市で把握していない。のちほど個別にお伺いしたい。

○質問 1-2

・相談会が行われなかったのは、当てが外れた。いつやるかと思ったら、12月説明会が開催されたが、冬で足元が悪く、そのような時期に行うのは違うのではないかと疑った。大町市で都市計画を考えているというが、松系道路が出来ることで都市計画を実現できるというのは違うのでは？道路はなるべく住宅を通らないようにするのが基本だと思うが、この計画はありえないのではないかと？安曇野道路では住宅を壊したところがあるのか？

●回答 1-2(大町建設事務所)

・安曇野道路については4kmで家屋移転はありません。大町市街地区間については、住宅がある所を通す計画なので、ご不便ご迷惑をお掛けするが、最適ルートということでご理解いただきたい。

○質問 1-3

・住宅が多いところに松系道路を通すルートが問題。大町市で示したのか？県が決定したのか？

●回答 1-3(大町建設事務所)

・最終的には県が示した。

○質問 1-4

・これまでに、県の道路事業で住居がある所に道路を通した事例はあるのか？大町市と同じような住宅地でもあるのか？

●回答 1-4(大町建設事務所)

・あります。

○質問 1-5

・早期に松系道路を通したいのであれば、住宅地を外せばいいのではないかと？ルートを変えればもっと早く、問題ならずに進めるのでは？

●回答 1-5(大町建設事務所)

・H30から説明を実施し、ご意見をいただきながらCルートに決定し、12月の説明会でルート線を示した経緯がある。賛成・反対あると思うが、今後も皆様のご理解を得られるようにしていきたい。

○質問 1-6(意見のみ)

・そのルートしか考えていない、それしか説明が無い。私は反対。住宅を移転する気持ちは無い。

○質問 2-1

・説明会にはどうせ行っても計画は変わらないと諦めている方が周りには多い。質問・意見の回答だが、P3の2つ目「ルート選定」に関する質問について、「丁寧に説明していく」ということは、意見を言っても変わっていない。P4の2つ目「騒音等の影響」では、12月の説明会では夜も寝れないという意見もあったが、事業実施段階で防音壁等の防音対策を講じていくとあるが、二重冊子などの記載はない。意見を言っても計画は何も変化していない。P7の「景観への影響」のイメージで盛土から10mの所に住んでいる人は、今後何十年もこの景色の所に住み続けるのか。今まで住んでいた住民がいるところをわざわざ通す。住民の意見を聞いても変わらない、変更や調整がない。計画を押し通すようで、住民の意見をどこで取り入れるのか回答して欲しい。

●回答 2-1(大町建設事務所)

- ・我々もすぐにこのルートでやらしてほしいというわけではなく、H30 から 60 回以上の説明会を開催して、ルート帯を決定し、ルート線を各地区へお示ししたところ。ルート線にご理解を得られるように説明会を開いている。賛成反対の意見があることは承知している。

○質問 2-2

- ・C ルート帯になってから、計画の変更はあったのか？

●回答 2-2(大町建設事務所)

- ・道路の計画については地域高規格道路の規格を満足させ、この先何十年も利用する道路の安全性と快適な道路となるように計画している。通らないで欲しいという意見もいただいているが、ルート線については皆さんの意見について取り入れることが出来なかったと説明した。

○質問 2-3

- ・近所にとっては安全、快適ではない。

●回答 2-3(大町建設事務所)

- ・ご理解いただけるように、これからも道路の必要性を説明していきたい。

○質問 3

- ・この計画は、現道活用を原則として H20 年に検討をスタートしている。しかし、計画はバイパスで進んでいる。何で住宅地を通さなければならないのか、良いか悪いかの評価が無い。公共事業は住宅地を避けて通るのが原則だが、大町市は市街地に近く、優良農地を守るという理由だけで根拠になっていない。どこのルートがいいかの評価については、ABC のルートを決めた際に、オリンピック道路のスピードを調べていない。様々な欠陥のあるやり方で、計画を推し進めているが、根拠がおかしい。まともな決め方ではない。今後、人口も減っていく中で、市民からの意見など、市役所が力不足で市民の対応をやってきていない。大町市の発展のためには、市民のいろんな意見を聞いて、本当に進めていっていいか確認して進めるようにして欲しい。

●回答 3(大町市役所)

- ・ABC のルートも基準に沿って、ご意見もいただいた上で検討をしており、決め方にご意見はいただくが、問題は無かったと認識している。

○質問 4

- ・常盤上一の道路が交差するところの説明を聞きたい。信号機をつけて欲しい。

●回答 4(大町建設事務所)

- ・後ほど図面を見てもらって、個別に説明させていただく。信号については、地域高規格道路にはつかないということをご理解いただきたい。

○質問 5-1

- ・説明会のこれまでも参加しているが、私が計画を知ったのは 3 年前。最初にルートを決める際の評価基準が理解できない。毎回の説明会でも、検討を重ねたという説明しかない、最適ルート案に至った経緯がわからない。根本的に、何故その評価基準を挙げたのか説明を受けていない。評価項目の選定理由は素人からするとわからない。そして、住宅を通る道路を選んだ。今までの説明会の結果だけでなく、納得して理解できるような説明をして欲しい。

●回答 5-1(大町建設事務所)

- ・評価基準については、県や市が一方的に決めたわけではなく、比較評価の項目についてもこれまでの地元説明会で意見をお聞きしながら決めてきた経緯がある。

○質問 5-2

- ・評価項目ありきでの話であり、具体的な評価項目の内容の話である。私が参加した時には評価項目が決まっていて、住民説明会の通知も無かった。なぜ同じ質問と回答を説明会で繰り返すのか？その理由を考えて、きちんと納得できる回答をしてほしい。

●回答 5-2(大町建設事務所)

- ・説明に至らぬ点があったことについては申し訳なかった。説明会の周知については、個別に通知出したり、広報に掲載したり、工夫はしている。

○質問 6

- ・12月に説明会、2月0Hで意見交換の場と言っているが、本日配布されたように書面に書いたものは記録に残っているのだが、その場で個別にお話ししたことの記録は無いが、みなさんは記録に残すつもりはあるのか？記録に残すのであれば、言葉で述べた人だけを書面にまとめて公表すべきではないか？

また、ルート線の中で高瀬川に橋が架かるが、その近くに無縁仏の石碑を大町市が建てている。道路の下になると思っているが、大町市はどうするのか、発掘調査をしてきちんと埋葬して欲しい。もし、道路の下になるようであれば、無縁仏となった人たちがかわいそうなので、きちんと対応して欲しい

●回答 6-1(大町建設事務所)

- ・意見についてはHPで公開しているが、個別の話は公表してほしくないという意思を汲んで、記録として残して皆さんに公表することは無い。取り扱いについては今後検討していきたい。

●回答 6-2(大町市役所)

- ・無縁仏については、確認済みである。歴史的経過も踏まえて、真摯に対応し、適切に移設をさせていただきたい。所管は福祉課となっており、大町市の中で調整をしていく。経過についてもお知らせしていきたい。

○質問 7

- ・いろんな意見を聞いて思うことは皆さんと一緒に。私も30年前に高根町に家を建てた。北アルプスの景観が好きで、こういう話に巻き込まれることは予想していなかった。今後の人生設計をするにあたって、どれくらい説明会をやって、納得する意見をいただいて、いつ頃のルート決定を考えているのか？また、工事の予定も、出ていくことを考えて、出ていく身として、30年後の大町市がどうなっていくのか、豊かに暮らしていけるのか疑問もある。期間や具体的な時期を明示されていないが、決定するのであれば早く決定して欲しい。どこに住んでいけばいいか不安が大きい。はっきり目標を提示して欲しい。説明もしながら、計画も進めていっていただきたい。

●回答 7(大町建設事務所)

- ・ありがとうございます。この場で具体的なスケジュールを申し上げることは出来ないが、貴重な意見として受け止めます。

○質問 8(意見のみ)

- ・今は計画の段階であり、盛土計画には反対で、見直してほしい。今後、計画の見直しを求める公害調停を立ち上げる。それが終わるまでは都市計画決定が出来ない。賛同する人は集まってほしい。

○質問 9

- ・12月の説明会で側道のたたき台が示された。松糸道路によって、生活道路が分断されてしまい、行き止まりになる。除雪をする際に家の周りだけ雪だまりになる不安がある。計画に不安な思いがあるが、今ある道路が分断することなく利用できるように、かつ除雪車が入れるように検討して欲しい。側道の機能確保だけでなく、今ある生活道路を無くさないで欲しい。また、側道や盛土横1mの住宅の方に対して、真摯に相談乗っていただけられるようお願いしたい。

●回答 9(大町建設事務所)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。個別のお話しは、事業実施段階に大町市と連携して対応していきたい。

○質問 10

- ・説明会資料の表紙のイメージはどこか？上一の近くに農地があるのだが、新しい道路が出来ると、今後は大きく迂回しなければならず、不便になる。

●回答 10(大町建設事務所)

- ・表紙は松本系魚川連絡道路と交差する国道147号の辺り。上一の近辺では同様な意見を多くいただいている。生活道路の確保については、事業実施段階で具体的な話をしていきたい。